



ORACLE

調査のサマリー

物流はクラウドと 新興テクノロジーを採用する 転換点にあるのか？

序文

結び付きとサポートネットワークは、公私においてこれまで以上に重要になっています。貴社のような組織は、データドリブンのインサイトを使用して、将来に関するスマートな決定を下しています。タイムリーな情報にアクセスし、さらにその情報を基に迅速に行動できることは、かつてないほど重要です。

当社はそのような考えから、貴社が現在を含めた長期的な視点で次なるステップを計画する際に役立つコンテンツを共有したいと考えています。

この調査レポートのサマリーは、サプライチェーン専門家の物流における最重要目標、最重要課題、およびテクノロジー投資における最優先事項を浮き彫りにしています。調査は最近のイベントに先立ち実施されましたが、調査結果は少なくとも、現在も重要な意味を持つと考えています。市場の変化と混乱を管理し、コスト管理、リアルタイムの可視性の獲得、顧客サービスの改善、効率性の向上といった深刻な物流課題に対処するためのもっとも効果的な戦略とテクノロジーをこの調査結果は明らかにしています。

当社は、現在貴社が抱いているあらゆる疑問にお答えします。そして、未来への正しい道にビジネスを導くために軌道修正が必要な場合はお手伝いします。当社の[サプライチェーン・リサーチハブ](#)では、さらなる資料や連絡先などを多数提供していますので、いつでもお気軽にアクセスしてください。

健康と安全にご留意ください。

Logistics Product Marketing Lead
Joan Lim

ORACLE



サプライチェーン専門家の70%が、クラウド・ソリューションは、大変革をもたらすか、ビジネスの成長に著しい影響または適度な影響を及ぼすと考えていることをご存じですか。さらに、その4分の3のサプライチェーン専門家が、物流テクノロジーへの投資は、今後12か月で増加するか、同程度にとどまると回答していることをご存知ですか。

オラクルが後援した新しい調査レポートでは、雑誌「*Supply Chain Management Review and Logistics Management*」に代わってPeerless Research Group（PRG）が、サプライチェーン専門家を対象に調査を実施し、物流における優先事項と障害、およびクラウド・ソリューションと新興テクノロジーの利点に対する見解について回答を得ました。

調査結果では、物流はクラウドと新興テクノロジーを採用する転換点にあることが示されています。このパラダイムシフトは、運用上の目標と課題、および既存のオンプレミスや手動のソリューションに付随する制約によって推進される実利的な理由に基づいています。

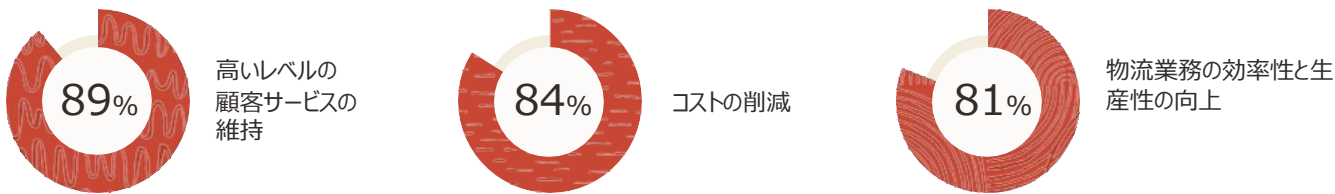
「クラウドによって、ソリューションの採用がより容易になります。アプリケーションを国内および世界中に迅速にロールアウトし、グローバル情報に素早くアクセスすることが可能になります。」

大手自動車企業、サプライチェーン・マネージャー

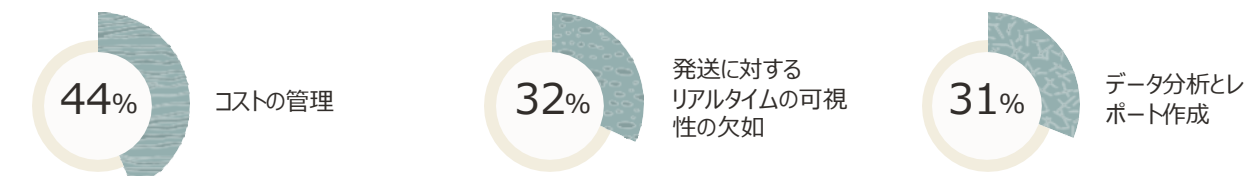


この転換点を後押ししているもの

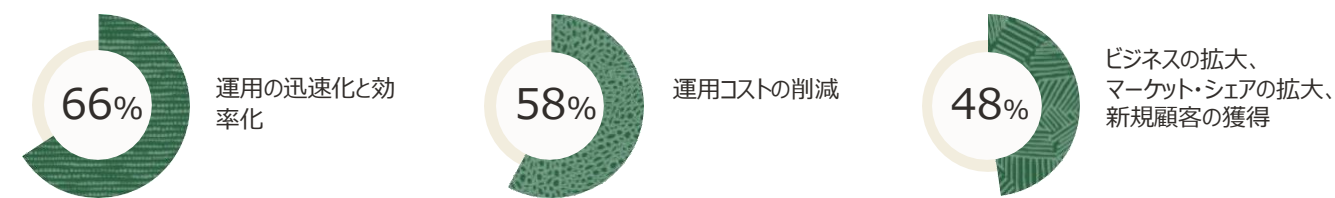
物流の最重要目標



物流の最重要課題



新しいテクノロジーに投資する上位の理由

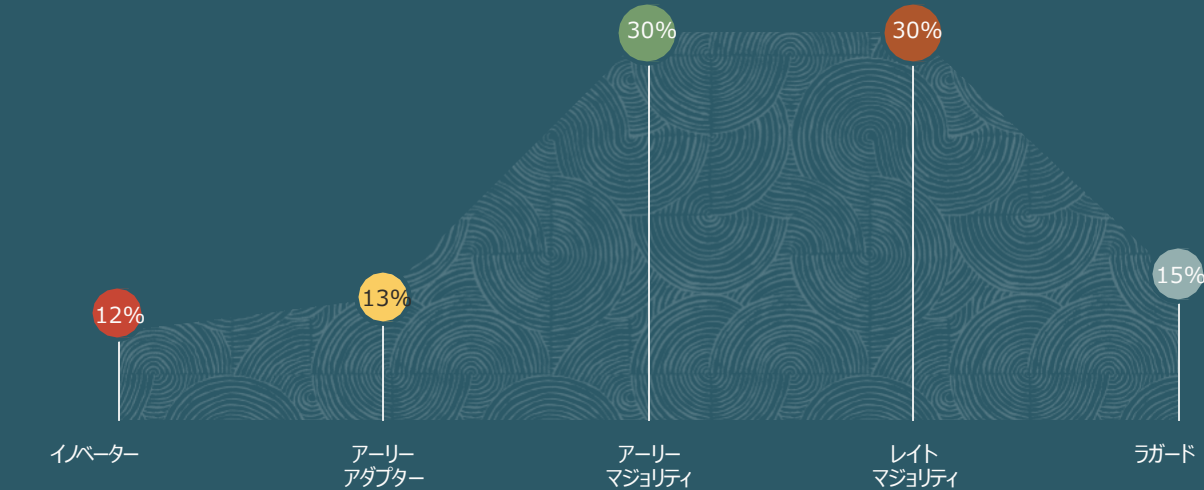


この調査は、サプライチェーン専門家が物流プロセスにおける深刻な課題に取り組んでいることを示しています。残念ながら、多くの回答者は、現在のレベルの運用機能を、目標を達成するための主な障壁と捉えています。これらの制約に対処するために、多くの回答者は来年、重要なテクノロジー投資を行うことを計画しています。

テクノロジー採用への実利的なアプローチ

調査回答者はコストの削減と効率性の向上を切望していますが、新しいテクノロジーを導入してこれらの目標を達成することについては、通常は実利主義的です。ほとんどの回答者は、テクノロジー採用曲線の中央に位置し、イノベーターやアーリーアダプターが実証済みの利点を確認した後に限ってソリューションを進んで導入します。しかしながら、顧客満足度と物流の実施に対する圧力は増し、レガシーシステムが重要なサプライチェーン・プロセスをますます阻害している中で、より多くの組織はクラウドベースの物流ソリューションへと転換するでしょう。調査回答者は、成長と競争上の優位性を達成するための手段として、これらのテクノロジーの価値を認識しています。

サプライチェーン・テクノロジーを採用する組織

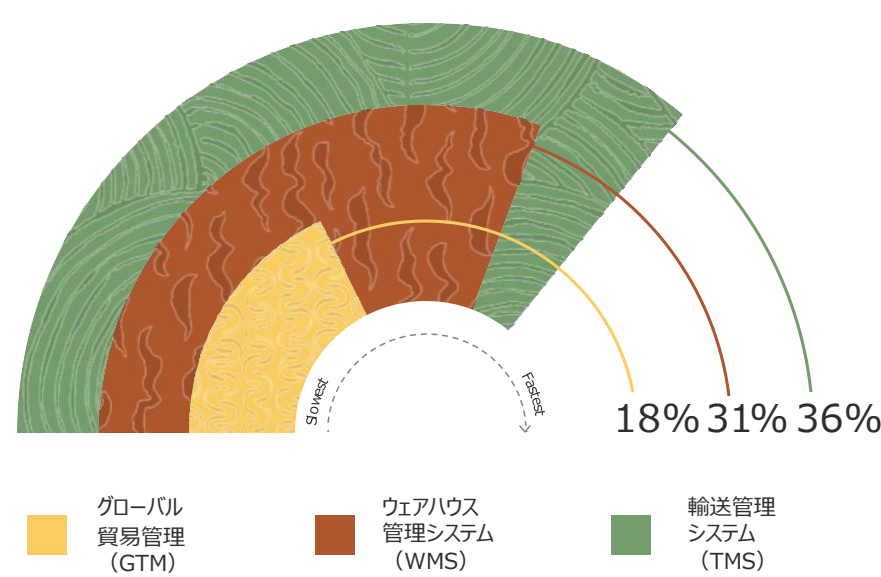


「当社は複数のタイムゾーンで事業を運営するグローバル企業です。クラウドはリアルタイムであり続けるための唯一の方法です。」

中規模工業包装企業、運用マネージャー

クラウドベースの物流への転換

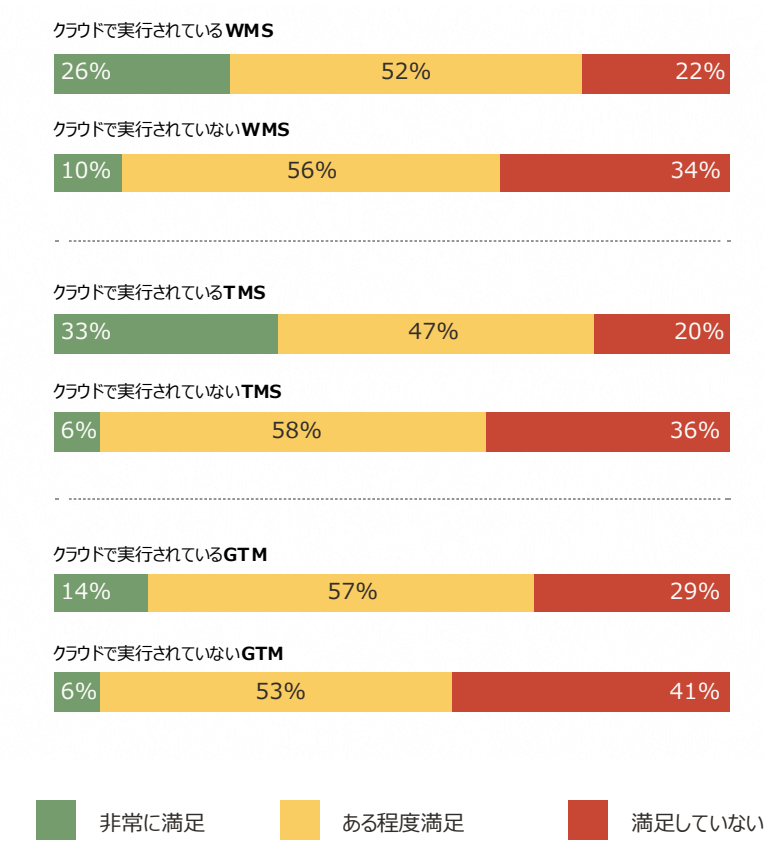
物流ソフトウェア全体におけるクラウドの採用率



クラウドに移行する理由



クラウド・ソリューションの使用による満足度の向上



調査結果は、サプライチェーン専門家が、極めて差し迫った物流目標と課題に対処できるクラウド・ソリューションの採用を準備していることを示しています。約70%の回答者が、クラウド・ソリューションは、成長率の向上に対して、状況を一変させるような効果、著しい効果、またはある程度の効果があると認識しており、複数の回答者が、その理由に関して、迅速な導入から情報へのアクセスの改善に至るまでの有益なインサイトを提供しています。

TMS、WMS、GTMの全ソリューションにおいて、クラウドを導入している回答者は、“非常に満足”と回答した割合が高い傾向にあります。一方、クラウドを導入していない（オンプレミスまたは手動のソリューションを使用している）回答者は、“満足していない”または“ある程度満足”と回答した割合が高くなっています。



調査回答者がクラウド・ソリューションに価値を見出す理由

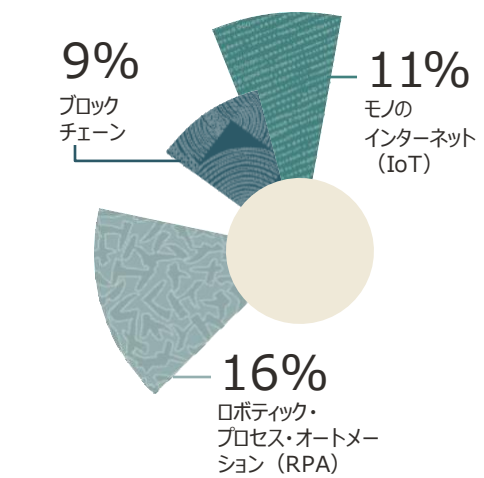
回答者がクラウドに移行する理由のほとんどは、回答者が報告した課題および目標と相互に関連しています。多くの回答者は、顧客サービス、コスト管理、可視性、データ分析に関する問題を報告していますが、オンプレミスや手動のソリューションを使用してそれらの問題に対処するのは、時間とコストがかかりすぎて不可能であることに気付く場合が大半です。一方、クラウド・ソリューションでは、データがリアルタイムで提供され、機能が頻繁に更新され、運用費の価格モデルが提供されるため、これらの課題に直接対処できます。

「[クラウド・テクノロジーを使用すれば]、ロケーション間でリアルタイムデータを容易に取得できます。ローカルイベントのために情報を失う可能性も少なくなります。」

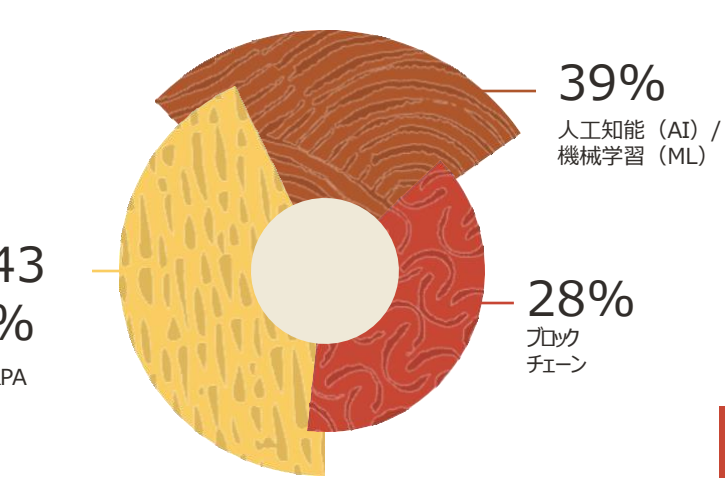
ウェアハウス企業幹部

新興テクノロジーについての見解





使用されている上位の
新興テクノロジー



今後2年間で重要性が高まる
上位のテクノロジー



新興テクノロジーを採用する主な理由

 IoT	 AI	 ブロックチェーン	 RPA
<ul style="list-style-type: none">統合の向上プロセスの効率性の向上リアルタイムのレポート作成可視性の向上通信の向上	<ul style="list-style-type: none">自動化の実装予測分析データドリブンの意思決定オフショア製造からオンショア製造への転換在庫管理の向上	<ul style="list-style-type: none">セキュリティ支払いの追跡可視性の向上	<ul style="list-style-type: none">生産性の向上自動化の実装正確性とコンプライアンスの向上信頼性と整合性の向上

高度なテクノロジーは依然として使用が開始されたばかりですが、回答者は、これらのイノベーションが向こう2年間でより重要になることを明確に認識しています。たとえば、AIとブロックチェーンの採用率は現在低いものの、比較的高い割合の回答者が、近い将来、“非常に重要”になると考えています。

回答者が高度なテクノロジーを利用したいと考える領域は、コストの削減、可視性の向上、プロセスの効率性の向上など、調査の早い段階で特定された物流の最優先事項と一致しています。

定義されている新興テクノロジー



モノのインターネット
IoTは、自動的にデータを共有する接続済みのセンサーやデバイスを指します。IoTによって、発送を容易に追跡し、潜在的なエラーや問題を迅速に特定できます。



人工知能
AIは、機械学習を利用してタスクをスマートに実行します。AIによって、リードタイムの予測、ウェアハウスに輸送中の商品の輸送ルートの変更など、サプライチェーンにおける決定を情報に基づいて、より俊敏に下すことができるようになります。



ブロックチェーン
ブロックチェーンは、ネットワーク全体に保存された透過的で制御されたトランザクション記録を使用するため、データが侵害されず、サプライヤ、パートナー、お客様にとって“信頼できる唯一の情報源”として機能することが保証されます。



ロボティック・プロセス・オートメーション (RPA)
RPAは、ソフトウェアロボットとAIを使用して、手動で実行されている定型的な業務プロセスを自動化することで、エラーと異常を最小限に抑えます。

「当社は現在、お客様に製品を選択するとき、およびお客様にサブスクリプションや贈り物用の箱を選択する際の在庫利用効率を向上するために、人工知能を活用しています。」

中規模ネット小売業者、運用マネージャー

全体像の把握

完全な調査結果をダウンロードし、サプライチェーンと物流の専門家が経験している課題、および物流がクラウドと新興テクノロジーを採用する転換点にある理由について、詳細を確認してください。

調査レポートを読む